

教育科学

数学教育

特集

明日の授業が
ちょっと変わる

指導の 小ワザ 30

教育科学 / 数学教育 2月号

発行所 明治図書出版株式会社
http://www.meijitoshu.co.jp
東京都北区滝野川7-46-1
郵便番号 114-0023
振替 00160-5-151318番

Printed in Japan

定価 860円

本体 796円

Contents

- 1 授業のつかみの小ワザ / 山本一香・野々村礼二・志水 廣・藤原大樹
- 2 課題提示の小ワザ / 神原一之・佐藤 保・高橋広明・宮本博規
- 3 発問・指示の小ワザ / 環 修・鬼澤美晴・岩田正樹・出崎友英
- 4 指名の小ワザ / 尾崎正彦・神谷和宏
- 5 子どもの発言を引き出す小ワザ / 高木 徹・山元光一
- 6 子どもの発言をつなぐ小ワザ / 夏坂哲志
- 7 子どもに問い返す小ワザ / 菅原 大
- 8 机間指導の小ワザ / 川上公一・間嶋 哲・小林美記代
- 9 板書の小ワザ / 上宗和秀・榊沢公一・中村光晴
- 10 授業のまとめの小ワザ / 谷地元直樹・佐々木晶子
- 11 提出物チェックの小ワザ / 和家祥一・山本貴之
- 12 小テスト作成の小ワザ / 掛布昇英・坂下賛匠

小特集 学年末テスト問題の具体例と作問のポイント

数学的な見方や考え方を診断する問題の具体例と作問のポイント / 天野久雄・坂本健司
中学校数学を振り返るおもしろ問題の具体例と作問のポイント / 大谷 一

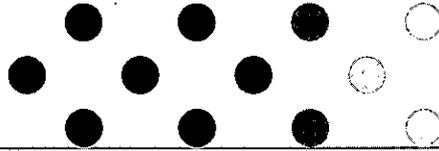
雑誌05443-02



4910054430257
00796

明治図書

2015 **2**
No.688



②授業を向上させる指名の小ワザ

神谷 和宏

1 指名の種類

教師の指名には、偶発的指名（番号、じゃんけん、サイコロなど）、立候補者指名（挙手など）、意図的指名などがあります。授業では、これらをバランスよく使い分ける必要があります。中でも、意図的指名は重要です。事前にだれがどのような考えを持っているかを把握し、その生徒の発言で授業が深まるのは、教師冥利に尽きると言えます。

2 授業前半に多く指名する

カラオケで、最初は気が乗らなくても、一度歌い出すとまた歌いたくなるということがないように、授業でも一度発言するとまた発言したくなります。ですから、最初に簡単な課題で、できるだけ多くの生徒（中でも授業への関心が低い生徒）に発言させます。指名した生徒の言葉を繰り返すという技法もありますが、これもケースバイケースで、「すごい」「なるほど」「やるなあ」などの簡単な声かけをテンポよく行い、元気付けます。

3 隣席同士で相談させてから、指名する

授業で挙手できない生徒の中には、自信がないから発言しないという子がかなりいます。その解消法として、指名の前に隣席同士で相談させることは有効です。「北側の席の人、隣の人に説明してね」「ジャンケンで負けた人が答えるんだぞ」などは日常的に使える手法です。相談させることで、自分の意見に自信が付き、挙手する生徒が増え、発言の質も高まります。

4 呼び方を工夫する

現在、数学が苦手な3年生で常に「チャンピオン」と呼んで指名している

生徒がいます。彼は、体育大会の高飛びで圧巻の優勝をしました。それ以来、彼を指名するときは「チャンピオン」と呼び、発言し終わったときに「やるなあ」と声をかけます。これだけのことで、何事にも自信が付いて、数学の授業態度も変わってきました。数学とは直接関係がありませんが、自信をもって認められると、それが学習にも作用することがあります。この生徒の半年間の授業日記の変化もそのことを証明しています。

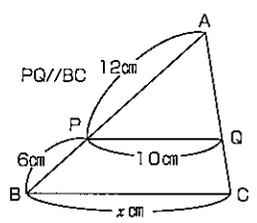
月日	学習内容	この授業でわかったこと・使えそうなもの、質問等
5/26	平方根とは何か？	今日は平方根をやりましたが、頭の中がごちゃごちゃしてよく分かりませんでした。ルートって数字なのかな。

月日	学習内容	この授業でわかったこと・使えそうなもの、質問等
11/14	中点連結定理の比を求めよう。	最近、発言できて、よく分かるようになってきました。うまく相似な三角形を見つけることがポイントだと分かりました。

5 誤答が出たら、「なるほど」と言って沈黙する

指名した生徒の答えが誤答である場合もあります。こんなとき、教師はついあたふたしてしまいます。生徒を傷付けずに誤答であることに気付かせるのはなかなか難しいことです。こんなときに有効なのが、「なるほど」と承認し、しばらく沈黙するという方法です。教師は沈黙に耐えきれず、すぐに言葉を発しがちですが、これでは生徒に気付きは生まれません。沈黙は考えるきっかけを与えます。それでもうまくいかなければ、「〇〇君がこう考えたのだけど、理由がわかる？」と他の生徒に切り返します。誤答には誤答なりの理屈があるのだから、その理屈に気付かせることで正答にもっていきます。

例えば、右の図のxの長さを求めさせる問題で、ある生徒が比例式を「10:x=12:6」と答えたとします。ここで、教師は「どうやってこの式を考えたかわかる人は？」と切り返し、「ABを12+6で18とするのを忘れたんだ」と気付かせます。最後に、この式をどう直せば正答になるかを、最初の生徒に答えさせることもポイントです。



(愛知県刈谷市立朝日中学校)